

「シーガー使って今日も快釣」

シーガーPE X8 200m巻 2号

★鈴木さんが使用する道糸はコストパフォーマンスにも優れた商品「シーガーPE X8」の2号。

「根ズレ防止のため2号にしました。このPEは低伸度なので感度抜群、底質も分かりやすいのでおすすめです」と鈴木さん。

▶シーガー PE X8=0.4~6号まで12アイテムを用意。号数により150~400mまで各種。価格はオープン



シーガー グランドマックスFX 60m巻 6号



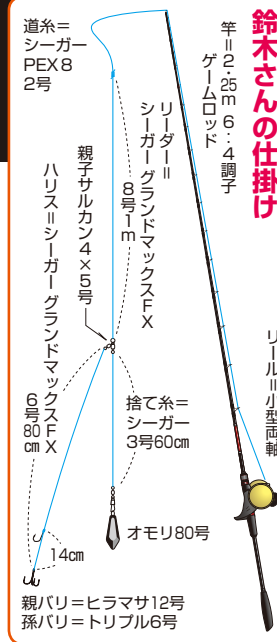
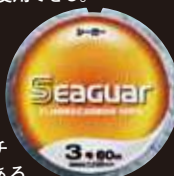
★ハリスは「シーガーグランドマックスFX」6号80センチ。「マハタは8号が標準とされていますが、糸の抵抗でエサが弱いようにしたいので、あえて6号を使っています。岩礁帯を探るので根ズレに強い二重構造のグランドマックスFXがおすすです」と鈴木さん。結節強度、感度、耐摩耗性に優れた高品質ハリスで信頼のシーガー製品なら安心して使用できる。

▲シーガー グランドマックスFX 60m巻=0.3~10号まで19アイテムを用意。価格は3200~6000円(税別)

シーガー 60m巻3号

★捨て糸は「シーガー」3号、長さは60センチが基準。根がある場所を探るので長めにエサが根掛かることを防ぐ

◎シーガー 60m巻=0.4~30号まで26アイテムを用意。価格は1600~1万5000円(税別)



鈴木さんの仕掛け

リール小型両軸

INFORMATION
外房・大原港 第一松栄丸
 ☎0470・63・0593
 (詳細は巻末の情報欄参照)
 ▶料金=マハタ乗合一人1万2000円(エサ、水付き)
 ▶備考=4時集合。ヒラメへも出船

中井 順一船長



▲開始から10分、マハタのアタリをとらえると竿が大きく曲がった



▲鈴木さんは親バリと孫バリを結んだ10組以上の仕掛けを用意している

▶1キロ前後が多かった



▲仲乗りさんにタモ取りしてもらってこのマハタはイセエビを吐き出した



▲マハタは食味も抜群 ▶底上2メートルで待ち、当日最大の2.4キロを釣り上げた石渡さん



▲3キロ級のヒラメを釣り上げた中井裕介さん



★底上1~3メートルのタナを手持ちスタイルで探っていく

★鈴木さんは1.5キロ級を頭に4尾キャッチ

Challenge #48 外房大原港出船のマハタ

▲親バリは口から上アゴへ、孫バリは背掛けで浅く刺す

▲ウロコがはがれないようオケの中でエサ付けをする

釣れる釣れる 釣れる 釣れる 釣れる

★ゲームロッドでマハタとのヤリトリを楽しむ



★道糸はシーガー PEX8、ハリスはシーガーグランドマックスFXを使用



▲釣り場は岩船沖の水深50~60メートル前後

鈴木新太郎 岩船沖でマハタを楽しむ

●ヒラメ釣りや一つテンヤマダイのゲストでおなじみのマハタは強い引き、食わせる駆け引き、そして食味のよさとも相まって外房の看板釣り物の一つとして人気急上昇。今回は地元の名手・鈴木新太郎さんが岩船沖へ釣行した模様をお届けしよう。

乗船した外房大原港の第一松栄丸には平日にもかかわらず7名の釣り客が集まった。鈴木新太郎さんは左ミヨシに釣り座を構え、タックルの準備をして出船を待つ。

鈴木さんの仕掛けは、ハリスが「シーガーグランドマックスFX」6号80センチ、捨て糸は「シーガー」3号60センチで、オモリは80号。

「糸の抵抗でイワシが弱るのを防ぐためハリスは6号にしました。マハタは岩礁帯を探るので根掛かりしないよう捨て糸は長め、場合によっては1メートルにすることもあります」

4時40分過ぎに出船し、50分ほどで岩船沖の水深50メートル前後に到着。

5時半になって船長から、「水深52メートルです。準備ができた方から始めてください」とのアナウンスで第1投となる。

わずか10分ほどで鈴木さんが船中第1号となる1キロ級を釣り上げた。7時を過ぎたころから、船中ではボツボツながら1キロ前後のマハタが取り込まれていく。

「伸びが少なく感度抜群のPEX8なら、底の起伏を把握しやすいです。おっと今、根の上ですね」と言い、底ダチをこまめに取り直し、道糸から伝わる情報を頼りに根を把握、ほどなく1.5キロ級を釣り上げた。

その後、アタリが遠くなったため水深60メートルのポイントへ小移動。

「イワシが弱りにくい仕掛けを海中に長く入れておけるので、その分チャンスが広がります。ハリスを細くした効果が出ています」と満悦。

その後、潮が流れ出すと船内では2.4キロのマハタが取り込まれ、次の流しでは3キロ級のヒラメが立て続けに2枚釣れ上がる。ひとしきり盛り上がりを見せたところで11時に沖揚がりとなった。

当日は0.6~2.4キロのマハタが0.4~4尾で、トップは鈴木さん。大型にこそ出会えなかったものの、鈴木さんの表情は明るく、「マハタはしゃぶしゃぶにして味わいます」とホクホク顔で船を降りるのであった。